

2. 外国語科目の履修方法

2-1. 設置科目と科目区分

本学部では、外国語として英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語（グローバルエデュケーションセンター設置科目）を設定しています。また、科目の区分として《外国語A（英語以外の外国語）》と《外国語B（英語）》の2種類に分けています。

2-2. 外国語Aについて

(1) 外国語Aの登録

入学手続き時にドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語のうちいずれか一つを外国語Aとして選択します。登録した外国語の変更は原則認めません。複合文化学科の学生は、朝鮮語を除く5つの言語のうちのいずれかを既習でなければ、朝鮮語を選択できません。

外国語Aとして選択した外国語以外の教育学部設置外国語科目を履修した場合、「その他の外国語」区分になります。また、外国語Aとして選択していないグローバルエデュケーションセンター設置外国語科目を履修した場合、随意科目として扱います。

(2) 卒業するために必要な履修科目・単位数

「授業ガイド > I 卒業要件と履修方法」を参照のこと。

(3) 履修方法

「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」

教育学部には、外国語A科目として朝鮮語を除く5言語について、以下を設置しています。

- 「外国語の基礎」
- 「外国語のコミュニケーションの基礎」
- 「外国語演習（ⅠⅠ・ⅠⅡ・ⅡⅠ・ⅡⅡ・Ⅲ・Ⅳ）」
- 「ツールとしての外国語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）」

正式な科目名称は上記科目名の「外国語」がそれぞれ「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」に置き換わります。なお、複合文化学科の学生は、上記「外国語演習」、「ツールとしての外国語」を専門科目として履修するため、これらの科目を外国語A科目として履修することはできません。

①履修の順番

外国語の基礎	原則として初年度に履修します。1年次は自動登録します。	
外国語のコミュニケーションの基礎	初年度に「外国語の基礎」と並行して履修することも、翌年度以降に履修することもできます。各自で科目登録が必要です。	
外国語演習	[複合文化学科以外] 履修には「外国語の基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字ⅠからⅣへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて科目を選択のこと。	
	[複合文化学科] 履修には「外国語の基礎」の単位を修得済である必要があります。 <u>履修はローマ数字の順（Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ）</u> にしてください。履修には下記の前提科目があります。	
	科目	左記科目履修のために単位の修得が必要な科目
	外国語演習ⅡⅠ	外国語演習ⅠⅠ
	外国語演習ⅡⅡ	外国語演習ⅠⅡ
	外国語演習Ⅲ	外国語演習ⅡⅠまたは外国語演習ⅡⅡ
ツールとしての外国語	外国語演習Ⅳ	外国語演習Ⅲ
	[複合文化学科以外] 履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字ⅠからⅤへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて選択してください。	
	[複合文化学科] 履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。 <u>履修はローマ数字の順（Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅴ）</u> にしてください。	

②科目登録

初年度の「外国語の基礎」は、受講曜日・時限・クラスが自動登録されます。その他の科目は各自が組(クラス)を選択し科目登録してください。

③統一到達度テスト

「外国語の基礎」は年度末に統一到達度テストを実施します。未受験の場合「外国語の基礎」の単位を修得できません。

※朝鮮語は統一到達度テストを実施しません。

④既習者の履修方法

本制度は外国語科目の上位レベルからスタートするものであり、**単位を付与するものではありません**。既習者登録を希望する場合、外国語A履修相談会(新入生ガイダンスと同日開催)にて申請書を提出してください

[複合文化学科以外]

次のA・Bに該当する学生は「外国語演習 (Ⅰ1・Ⅰ2・Ⅱ1・Ⅱ2・Ⅲ・Ⅳ)」、「ツールとしての外国語 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)」(これらに相当するグローバルエデュケーションセンター設置科目を含む)から必要単位を履修してください。なお、基礎の免除が認められても、外国語Aの卒業必要単位数は変わりません。

A:ドイツ語・フランス語で受験した学生が、受験時と同一の外国語を履修する場合

B:外国語の既習者(外国語A履修相談会にて「外国語既習届」を提出した者

[複合文化学科]

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語の既習者は、外国語A履修相談会にて「外国語A履修免除申請書」を提出し、当該外国語担当教員の面接により免除が認められた場合は、専門科目としての「外国語演習Ⅰ1」「外国語演習Ⅰ2」「ツールとしての外国語Ⅰ」からのスタートとなります。なお、基礎の免除が認められても卒業必要単位数は変わりません。履修を免除された6単位分については、他の科目で補う必要があります。

「朝鮮語」

「朝鮮語」(グローバルエデュケーションセンター設置科目)を外国語Aとして履修する場合は、本紙授業ガイド「科目登録の手引き」、グローバルエデュケーションセンター発行の「全学オープン科目履修の手引き」を参照してください。

卒業するために必要な履修科目・単位数は下表の通りです。

外国語A所定単位数	卒業に必要な履修科目・単位数	
	～2010年度配当科目	2011年度～配当科目
4単位 (外国語の基礎4単位)	「朝鮮語(初級)」4単位	「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位
6単位 (外国語の基礎4単位、外国語のコミュニケーションの基礎2単位)	「朝鮮語(初級)」4単位 「朝鮮語(中級)」2単位	「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位 「朝鮮語(準中級)」1単位 「朝鮮語(中級)」1単位
8単位 (外国語の基礎4単位、外国語のコミュニケーションの基礎2単位、外国語演習またはツールとしての外国語から2単位)	「朝鮮語(初級)」4単位 「朝鮮語(中級)」4単位	「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位 「朝鮮語(準中級)」2単位 「朝鮮語(中級)」2単位

入学時の「朝鮮語(入門)」及び「朝鮮語(初級)」については、受講曜日・時限・クラスが自動登録されますので、科目登録する必要はありません。また、朝鮮語を外国語Aとして選択しなかった学生は、随意科目として履修できます。その場合、卒業単位に算入できません。

2-3. 外国語Bについて

(1)履修する英語レベルについて

新入生は全員、入学年度の科目登録前に placement test (WeTEC) を受験しなければなりません。その WeTEC スコアをもとに履修する英語レベルを判定します。WeTEC スコアと履修する英語レベルの対応表は本紙「卒業要件と履修方法」>《卒業条件・英語》を参照してください。

この判定レベルに応じて、教育学部設置の英語科目を以下のように履修してください。

「基礎充実」レベルと判定された場合

初年度に「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」（いずれも 2 単位）を履修してください。これらの科目は、1 週 2 コマを履修し合格することで 2 単位を修得できます。片方の時限だけ履修しても半分の 1 単位を修得したことにはなりません。初級レベルの科目を履修するためには、「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」のいずれかの単位を修得している必要があります。

＊「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」の単位を修得した学生は、初級レベルの科目を履修してください。

＊初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「初級」レベルと判定された場合

初級レベルの科目を履修してください。中級レベルの科目を履修するためには初級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。更に、上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。

＊初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

＊初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生の中で、引き続き初級レベルの科目を履修する傾向が見受けられます。成績評価は各レベルにてバランスをとっているため、初級レベルは中・上級レベルに比べて成績評価が極めて低くなる可能性があります。適性レベルでの科目登録、受講を行うようにしてください。

「中級」レベルと判定された場合

中級レベルの科目を履修してください。上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。

＊中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「上級」レベルと判定された場合

初年度も次年度以降も上級レベルの科目を履修してください。

判定されたレベルより下のレベルの科目は履修できません。あるレベルの科目を 2 単位以上修得すれば、次学期以降に 1 つ上のレベルの科目を履修できます。

(2)科目の内容について

英語科目として、初級・中級は「コンプリヘンション（文化）」「コンプリヘンション（時事）」「コンプリヘンション（サイエンス）」「TOEIC」「コミュニケーション」の 5 つの分野に分かれて科目が設定されています。また、上級はトピック別に複数の科目が設定されています。WeTEC 結果の判定レベルに応じ

て、各自の希望により履修する分野・トピックを選択してください。

※教員免許状の修得に必要な「外国語コミュニケーション」の履修方法については、本紙「教員免許状取得のための履修方法」を確認してください。

(3)履修方法

①教育学科・国語国文学科・社会科・理学科・数学科(2013年度以降入学者)・複合文化学科

各学科専攻専修の「履修方法と卒業要件」に記載されている<<卒業要件・英語>>を満たさなければなりません。各学科専修の「履修方法と卒業要件」のページを参照してください。同じ学科専攻専修でも、入学年度により要件内容が異なりますので、注意してください。

③英語英文学科

- ・「履修方法と卒業要件」に記載されている《卒業要件・英語》を満たさなければなりません。
- ・《卒業要件・英語》を修得単位で満たす場合、判定されたレベル以上の教育学部設置英語科目、またはそのレベル以上に相当するGeneral Tutorial Englishほか学内の英語関連科目を計12単位（2015年以前入学者は計10単位）修得してください。ただし12単位（2015年以前入学者は計10単位）には「上級」が4単位以上含まれていなければなりません。
- ・下表に推奨履修モデルを示します。

【2016年度以降入学者】

判定レベル	1年次	2年次	3年次	4年次	計
上級	上級4科目4単位	上級4科目4単位	上級4科目4単位	—	12
中級	中級4科目4単位	上級4科目4単位	上級4科目4単位	—	12
		中級2科目2単位 上級2科目2単位			
初級	初級4科目4単位	中級4科目4単位	上級4科目4単位	—	12
基礎充実	基充1科目2単位 初級2科目2単位	初級4科目4単位	中級4科目4単位	上級4科目4単位	16

【2015年度以前入学者】

判定レベル	1年次	2年次	3年次	4年次	計
上級	上級4科目4単位	上級4科目4単位	上級2科目2単位	—	10
中級	中級4科目4単位	上級4科目4単位	上級2科目2単位	—	10
		中級2科目2単位 上級2科目2単位			
初級	初級4科目4単位	中級4科目4単位	上級4科目4単位	—	12
基礎充実	基充1科目2単位 初級2科目2単位	初級4科目4単位	中級4科目4単位	上級4科目4単位	16

2-4. グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の振替

グローバルエデュケーションセンター設置の外国語科目のうち、教育学部が指定する科目を履修した場合は、科目申請時に科目区分を変更することで「外国語A」「外国語B」へ振替えることができます。詳細は本紙授業ガイド「科目登録の手引き」および「教育学部での単位取扱いについて」を参照してください。なお、オープン科目の外国語科目を履修する場合は、前述の「履修の順番」は適用されません。

2-5. 3か国語目の外国語の履修

本学部設置されている外国語を履修する場合、修得した単位については《その他の外国語区分》として、卒業所定単位に算入されます。算入単位数については、各学科の「履修方法と卒業要件」のペー

ジを参照してください。

なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の外国語科目は随意科目として扱います。

2－6．外国学生の履修

外国学生が履修する日本語教育研究センター設置の日本語科目は外国語A区分として卒業所定単位に算入されます。修得しなければならない最低単位数は、各学科専攻専修で定められた外国語A区分の最低単位数です。